項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
１．簡易水道 事　　業	１．概要 （１）総括事項 町の水道は、士幌簡水、新田簡水、朝陽簡水の３つの簡易水道で町内全域を給水しており、住民生活や社会活動に直結したライフラインとして重要な役割を果たしている。 会計方式を昨年度より変更し、地方公営企業法適用事業の士幌町簡易水道事業会計となった。 物価が高騰している状況を踏まえ、令和７年７月から９月まで令和８年１月から３月までの計６ヶ月間、町民及び町内事業者の負担軽減を図る目的で水道基本料金減免を実施した。併せて住宅で他町からの受水及び井戸水利用者に対する助成を一般会計で実施した。 なお、本事業の実施に当たって、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金１３，０２７，７８５円の交付を受けている。 ①業務の状況 年度末の水道普及状況は、給水人口が前年度比７４人減の５，７７８人、行政区域内人口に対する普及率は、９９．９％となった。 また、総配水量が前年度比 ３４，１７６㎥増の２，０３４，８９３㎥で、有収水量は前年度比 １，４０８㎥減の１，７３７，９８４㎥、有収率は、前年度比 １．５ポイント減の ８５．４％となった。 ②財務の状況 収益的収支（税抜き）では、収益は営業収益１７３，６０２千円、営業外収益１６７，２５３千円、特別収益１，０３９千円の合計３４１，８９４千円、費用は営業費用２８１，２５７千円、営業外費用９，４３１千円の合計２９０，６８８千円となり当年度純利益は５１，２０６千円となった。 資本的収支（税込み）では、収入は一般会計繰入金２７，２２９千円で、支出は建設改良費５８，２９０千円、企業債償還金５９，５８７千円の合計１１７，８７７千円となった。資本的収入不足額９０，６４８千円は、過年度損益勘定留保資金６２，３０５円などで補填した。 （２）経営指標に関する事項 令和７年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、１１７．２６％となり、健全経営の水準とされる１００％を上回っている。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は１１４．２３％となり、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる１００％を上回っている。一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は４８．４５％となっている。 経営指標 | | 備考 経常収支比率 | 117.26% | (経常収益/経常費用)×100 料金回収率 | 114.23% | (供給単価/給水原価)×100 有形固定資産減価償却率 | 48.45% | (有形固定資産減価償却累計額/償却資産帳簿原価)×100 ※給水原価＝(経常費用－長期前受金戻入)／年間総有収水量 供給単価＝給水収益／年間総有収水量 （３）議会の議決事項 議会 | 議案 | 件名 | 議決年月日 定例第2回 | 議案第15号 | 令和7年度補正予算(第1号) | 令和7年6月12日 定例第3回 | 認定第7号 | 令和6年度歳入歳出決算認定 | 令和7年9月11日 臨時第5回 | 議案第10号 | 令和7年度補正予算(第2号) | 令和7年12月17日 定例第1回 | 議案第12号 | 令和8年度予算 | 令和8年2月18日

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（4）職員に関する事項

区分	人数	備考
課長	1	専任ではない
係長	1	下水道兼務
スタッフ	2(1)	(　)内は会計年度任用職員

2．工事

（1）建設改良工事の概要

工事名	工事費(円)	完成検査日
いこい地区耐震管布設工事	7,656,000	令和7年10月20日
士幌西２線耐震管布設工事	12,617,000	令和8年1月27日
合　　計	20,273,000	

（2）メーター器取替工事

工事名	工事費(円)	完成検査日
士幌町簡易水道施設メーター器取替工事	7,238,000	令和7年11月26日

（3）消火栓更新工事

工事名	工事費(円)	完成検査日
消火栓更新工事	1,331,000	令和7年12月26日

3．業務

（1）業務量

項目・地区名	士幌簡水	新田簡水	朝陽簡水	計
(㎥)	(592,182)	(768,555)	(639,980)	(2,000,717)
年間総配水量	595,260	799,537	640,095	2,034,893
(㎥)	(　530,896)	(626,162)	(582,334)	(1,739,392)
年間有収水量	535,315	616,882	585,787	1,737,984
(%)	(89.7)	(81.5)	(91.0)	(86.9)
有　収　率	89.9	77.2	91.5	85.4
(件)	(2,246)	(316)	(504)	(3,066)
件　　数	2,185	318	496	2,999
(人)	(4,121)	(522)	(1,212)	(5,855)
区域内人口	4,081	515	1,185	5,781
(人)	(4,118)	(522)	(1,212)	(5,852)
給水人口	4,078	515	1,185	5,778
(%)	(99.9)	(100.0)	(100.0)	(99.9)
普　及　率	99.9	100.0	100.0	99.9

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（2）事業収益に関する事項(税抜き)　（単位：千円）

区分	収益金額
営業収益	173,602
給水収益	173,036
その他の営業収益	566
営業外収益	167,253
他会計補助金	27,844
長期前受金戻入	139,207
受取利息及び配当金	202
特別利益	1,039
収益合計	341,894

（3）事業費用に関する事項(税抜き)　（単位：千円）

区分	費用金額
営業費用	281,257
原水及び浄水費	30,366
配水及び給水費	2,840
総係費	45,948
減価償却費	202,103
営業外費用	9,431
支払利息及び企業債取扱諸費	7,314
雑支出	2,118
特別損失	0
費用合計	290,688

（4）その他主要な事項

水道使用料収納状況　（　）前年度

区分	現年度分	滞納繰越分	計
調　定　額	(199,483,548円) 190,339,666円	(5,931,174円) 5,574,478円	(205,414,722円) 195,914,144円
収　納　額	(198,314,911円) 189,821,984円	(1,525,333円) 1,498,040円	(199,840,244円) 191,320,024円
不納欠損額	(0円) 0円	(0円) 0円	(0円) 0円
未　収　額	(1,168,637円) 517,682円	(4,405,841円) 4,076,438円	(5,574,478円) 4,594,120円
収　納　率	(99.41%) 99.73%	(25.72%) 26.87%	(97.29%) 97.66%
減免分料金	(8,594,080円) 17,387,755円		(8,594,080円) 17,387,755円

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
	4．会計 （1）企業債の概況 前年度未償還残高　９８５，９２５千円 本年度事業債発行額　０千円 本年度償還金額　５９，５８７千円 本年度末未償還残高　９２６，３３８千円 （2）他会計補助金等の使途について ①負担金（収益的収入） 朝陽地区管理負担金５１２，８８９円は、按分計算により１１１，５９３円が使途不特定の特定収入、４０１，２９６円が特定収入以外である。 ②他会計補助金（収益的収入） 一般会計繰入金２７，８４４，０００円は、企業債償還利子に3，６６６，０００円（特定収入以外）企業債償還元金に2，８２０，０００円（特定収入）減価償却費（特定収入以外）に２１，３５８，０００を充当した。 ③他会計補助金（資本的収入） 一般会計補助金２７，０３８，０００円は、課税仕入れの財源として発行した企業債の償還元金（特定収入）に充当した。